

「みんなのちかみち」

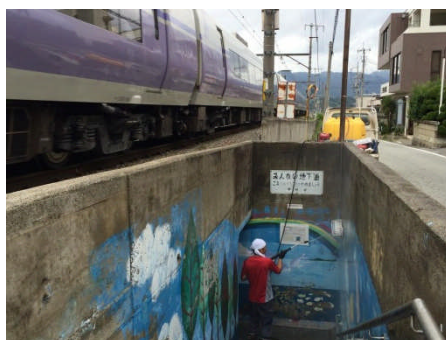
まちづくり さいしょのい〜っぽ

☆さあ、生徒に最高の舞台を用意しよう☆

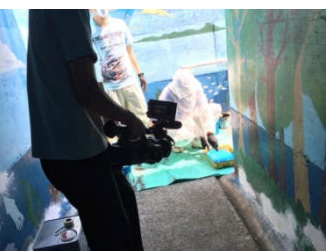
7/15 都市整備課でケレン作業・下地塗り。経年劣化が酷く、はらみや、はく離が目立つ。高圧洗浄機で壁画の除去を行うが、なかなか落ちない。コンクリート壁もボロボロ落ち、場所に



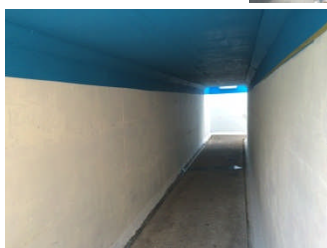
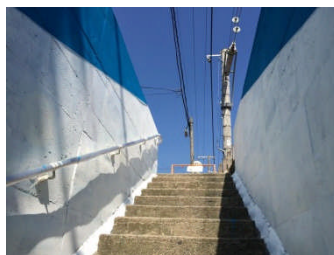
よっては大きな穴がある。モルタルでの修復も必要となった。排水溝の勾配も今後は考える必要がある。作業開始にあたって、広報の折込チラシ、小中学校への伺いを行った。モルタルで穴埋め作業は比較的スムーズ。



7/16 モルタル乾燥後は細かいところの修復を行い、下地塗り。美術部担任の先生との事前打合せで目地を境に上部を青。下部を白となったので、マスキングテープで境界を作った。梅雨も明ける7月中旬。蚊も多い。蚊取り線香が必要と話が出る。CATVの取材も事前に打合せ済み。取材担当者も汗だくになり取材をしていただいた。



下地塗りも順調に進み、乾燥・・・
生徒への最高の舞台は整った。



まちの反応は？

私たちが作業していると、いつも通る方から飲み物の差し入れをいただいた。



チラシを見た人は、「中学生はどんな絵を描くのかな？」と、話しかけてくれた。長らく壁画のリニューアルをしていなかったが、その間はトンネル近くの方が掃除や管理をしてくれて

いたので今回のリニューアルについては、楽しみとのこと。

1DAYS およっちょいぷらざに

て朝の会を開いた。教育長の激励の言葉。急遽、朝の会に参加していただき生徒に応援の言葉を送る JR 塩山駅長。部員に勢いをつける先生の言葉。そして、完成に向けて意気込みを語る部長。部長の、完成に向けての言葉は力強く、私たちの心に響いた。初日の作業は下書きをするためのマス目づくり。このマス目がレイアウトの重要な鍵となる。報道陣も多くみえ、部員の会話も弾み、賑やかな雰囲気です作業は始まった。



2DAYS 東側面の下書き。

レイアウト通り部員が下書きしていく。コンクリートへ鉛筆で下書きをするので、思った以上に消費が激しい。生徒が鉛筆を削るシーンを目にした。先生が一年生にレイアウトの意味を説明していく中、二年生、三年生は手際よく作業を進めていく姿に、頼もしさを感じた。レイアウトの配置を部員同士で確認しあい、正確な下書きを進めて行った。

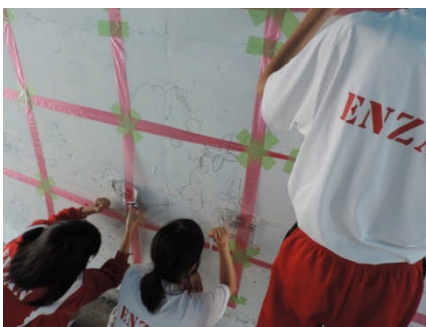


3DAYS 対面の下書き。

全貌が明らかになっていき、部員の気持ち一段と強くなったのを感じた

時折、夏休みのプールへ向かう小学生がトンネルを歩いて迷っていると、部員が優しく声をかける、あたたかい一面もあった。

この三日間を通しての作業は、トンネルの内だったので、暑い日が続いたが比較的スムーズに行った。

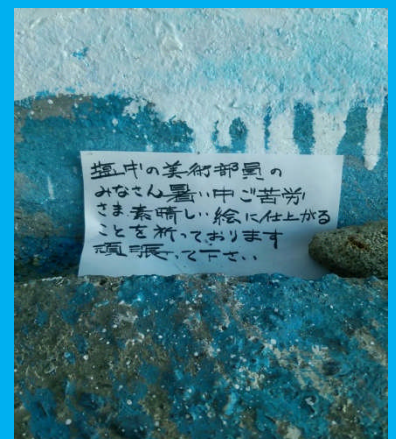


まちの反応は？

報道陣は、NHK・YBS・UTY が取材に集まった。作業中、通行する方の「テレビ見たよ。綺麗にしてくれてありがとう。」と声をかけてくれた。

2日目の朝、みんなのちかみちに来てみると、手紙が一通おいてあった。それは、生徒への 応援メッセージであった。このメッセージに生徒も作画完成に一段と力が入った。学校にもニュースを見た方からの

応援電話があったようだ。



4DAYS 猛暑日を更新する日

が続いた。そんな中、階段の下書きを開始。壁画リニューアル開始してはじめての炎天下での作業は、思っていた以上に体力の消費が多い。先生も休憩をこまめに取り生徒の調子を伺う。階段部分の壁画もトンネル部分とは違った作品になっているので楽しみである。

もう一つ、輪郭を書く作業がある。下書きした絵の輪郭を黒色で描いていく。壁画の全貌が明らかになっていく。



5DAYS いよいよ色入れ。

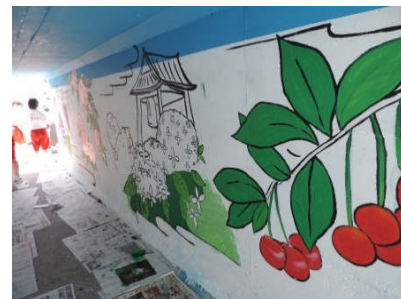
使う材料は、ターナーのピックアート。屋外壁画用に耐候性に強く、作業性が高い。部員が刷毛で色を付けていく。デリケートな作業だけに先生の声も大きくなり、部員も慎重に色を入れていく。部員が真剣に作業を行う姿は、とても輝いていた今日は、校長先生と教頭先生が激励にきてくれ生徒と会話をしながら、その場を和ませてくれた。



6DAYS 順調に色がつけられていく。

部員も慣れた手つきで作業していく。私たち職員も色付けをさせてもらった。刷毛で凹凸のあるコンクリート壁に綺麗に塗っていくのは非常に難しく、色の境界部分も筆裁きが難しいが、部員を見ていると簡単に塗っている。さすがである。

今日は、保護者の方が差し入れに来てくれた。



まちの反応は？

フェイスブックでの情報発信を行うと、「みんなのちかみちはどう?」「中学生頑張ってるね!」と、多くの人が反応する。密かに注目を浴びていることを感じた。

色塗り工程では、水が必要になる。およっちょいぶらざでバケツに水をくみ、運ぶ。それを見た近所の方が、「うちの水道使っていいからね!」と声をかけてくれた。重いバケツを運

ぶ生徒を見た近所の方の温かい想いが見えた場面であった。



7DAYS まず、今日の作業

は、階段部分の色入れ。やはり炎天下の作業はつらい。先生も朝の早い時間を選び、部員の体調を見ながら作業を進めていく。気温が上がったら、トンネル部分の作業へ移る。こうした先生の的確な指示により誰一人リタイアすることなく終盤に差し掛かった。

8DAYS 色入れから3日目になり、完成が見えてきた。細かいところの修正と、残すところは最終日である。

る。

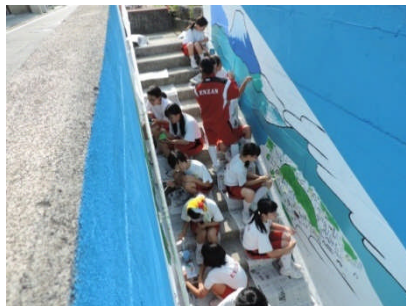
FINAL DAY

今日が最終日。一番暑いと感じる今日であるが部員は元気いっぱい。細かいフチや輪郭の修正を行っていく。

最終日の締めくくりは、市長への完成報告と、お披露目式が待っている。部長は少し緊張している様子だが、これまで部員をまとめ、完成までさせたという誇りと自信とも感じられる。途中、教育長が、部員に激励の言葉をくれた。

作業も終わり、完成報告・お披露目会が始まる。市長、校長先生、教頭先生、JR 塩山駅長が参加。部長による完成報告が行われ、市長が部員に感謝の言葉を贈った。こうして、無事全日程が終了した。部員に、少しの疲労感と、多くの達成感が感じられた。

またひとつ、甲州市の財産が誕生した。



まちの反応は？

作業開始から7日目、階段部分の色付けも終盤を迎えたころ。電車内から覗き込む人をよく見るようになった。

毎朝通る子連れのお母さんが『いつも楽しみにしてるよ！』と声をかけてくれ、部員も思わず笑みがこぼれた。さらに、最終日はトンネル近くの方から、アイスの差し入れを頂いた。

地域全体で応援されているように感じる。

